

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

1年 いくつと いくつ □ 24～31

●10までの数の合成・分解の勉強をします。

「10はいくつといくつに分けられるか」「いくつといくつで10になるか」を考えることは、6月から始まるたし算やひき算の基礎になる大切な勉強です。10個のあめを用意し、片手のあめを見せてもう一方のあめの数を当てさせるゲームなど、お子さんが興味を持つように工夫しましょう。



慣れるまでは、おはじきなどの「物」をさわりながら考えましょう。

2年 ひき算の ひっ算, 1000までの 数 □ 46～68

●2けたの数のひき算の筆算ができるようにします。

$$\begin{array}{r} 45 \\ - 18 \\ \hline 27 \end{array}$$

くり下がりに
気をつけてね。



① たてに位をそろえて書く。

② 一の位の計算をする。

5から8はひけないので、十の位から1くり下げる。

$$15 - 8 = 7$$

③ 十の位の計算をする。

一の位に1くり下げたので3。

$$3 - 1 = 2$$

④ 答えは27

●1000までの数を数えたり、書き表したりします。

3年 わり算 □ 32～45

●わり算の意味を知り、わり算の答えが求められるようにします。

$$12 \div 3 = 4$$

〈12個を3人で同じ数ずつ分ける〉

○○○○|○○○○|○○○○

3のだんの
九九を使って
求めるよ。

〈12個を1人に3個ずつ分ける〉

○○○|○○○|○○○|○○○

12=わられる数

3=わる数



ポイント かけ算九九を覚えていないとできないので、しっかり復習しておきましょう。

4年 (2けた)÷(1けた)の計算, 1けたでわるわり算, 角 □ 38～70

●2けた÷1けた, 3けた÷1けたのわり算の筆算ができるようにします。かけ算九九を何度も使うので、まちがえないように注意しましょう。

〈計算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 65 \\ 9 \overline{) 585} \\ \underline{54} \\ 45 \\ \underline{45} \\ 0 \end{array}$$

・ $58 \div 9 = 6$ あまり4

・ $45 \div 9 = 5$

たてる→かける→ひく→
おろすの順に計算しよう。



●分度器を使って角度をはかったり、角をかく練習をし、三角じょうぎの角について学習します。

5年 比例, 平均, 単位量あたりの大きさ(1) □ 32～58

●比例について学習します。

〈例〉ともなって変わる

2つの量 □と○

□が2倍, 3倍, …になると, ○も2倍, 3倍, …になる。

||

「○は□に比例する」

A×1個5円,
2個だと…。



●平均の意味を知り、単位量あたりの大きさの考え方を学習します。

・ 平均 = 合計 ÷ 個数

・ 人口密度(1 km²あたりの人数) = 人口 ÷ 面積

6年 分数と整数のかけ算とわり算, 分数×分数 □ 34～58

●分数×整数, 分数÷整数, 分数×分数の計算ができるようにします。

$$\textcircled{1} \quad \frac{b}{a} \times c = \frac{b \times c}{a}$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{b}{a} \div c = \frac{b}{a \times c}$$

$$\textcircled{3} \quad \frac{b}{a} \times \frac{d}{c} = \frac{b \times d}{a \times c}$$

分母どうし, 分子
どうしでかけます。

計算のとちゅうで
約分できるときは,
約分してから計算
するとかんたん!

